

< 伴走型小規模事業者支援推進事業 >

水巻町

地域経済動向調査集計報告書



成平成29年11月

水巻町商工会

目 次

I. 本調査の主旨	1
I. 水巻町の概要	
1. 地理	2
2. 人口	2
3. 歴史	2
4. 産業	3
5. 水巻駅および東水巻駅の現状	3
II. 会員アンケート集計結果分析（回答数 180 件）	
1. 事業所の概要について	5
2. 事業所について	8

I. 本調査の主旨

(1) 経済動向に関する調査

①景気・金融・雇用動向調査（拡充実施）

独自に作成した調査シートを用いて小規模事業者を対象に調査を行い、巡回を行う際は作成した調査報告書を小規模事業者が地域の経済動向と外部環境の把握を行うための資料となるよう提供するなど、支援に有効活用する。また、調査報告書は広報誌やホームページに掲載する。

《調査方法》

中小企業景況調査（県連受託事業）を基に独自調査シートを作成して年2回小規模事業者へ発送、返信にて調査回答とする。なお、調査シートは有記名とし、業種毎に調査内容を集計する。（今回は9月実施分）

《調査項目》

前年同期間と比較し売上額、単価、数量・仕入単価、採算、従業員数等について「増加」・「不変」・「減少」の状況、今期及び来期の設備投資計画、直面している経営上の問題点 等

(2) 調査結果の活用方法

調査結果を基に、毎日のミーティングにより職員間の情報共有を図る。各職員が小規模事業者への巡回・窓口訪問の際に経営改善等を必要とする事業所を把握し、小規模事業者等への経営分析・経営計画策定等を行う際の基礎資料として活用する。また、収集した情報を専門家と共に分析し、巡回・窓口訪問の際に小規模事業者へフィードバックしていく。このことにより小規模事業者にとって、最新かつ質の高い情報を知ることができ、経営課題がどこにあるか探す手がかりとなり経営改善を促すきっかけとなる。

なお、経営発達計画の見直しや商工会の事業計画策定に利用する。

《この事業による効果》

計画的に情報を収集することで小規模事業者の景気動向を把握することができる。また、地域内の経済状況や消費動向を把握することで消費者の必要とする情報をタイムリーに提供でき事業計画策定においても地域の状況や消費動向を捉えた上で小規模事業者の機会、脅威を的確に捉え事業の方向性を確認し、主として吉田町営住宅の建て替え計画に則った計画的な商業集積へ商工会の支援を実施することができる。

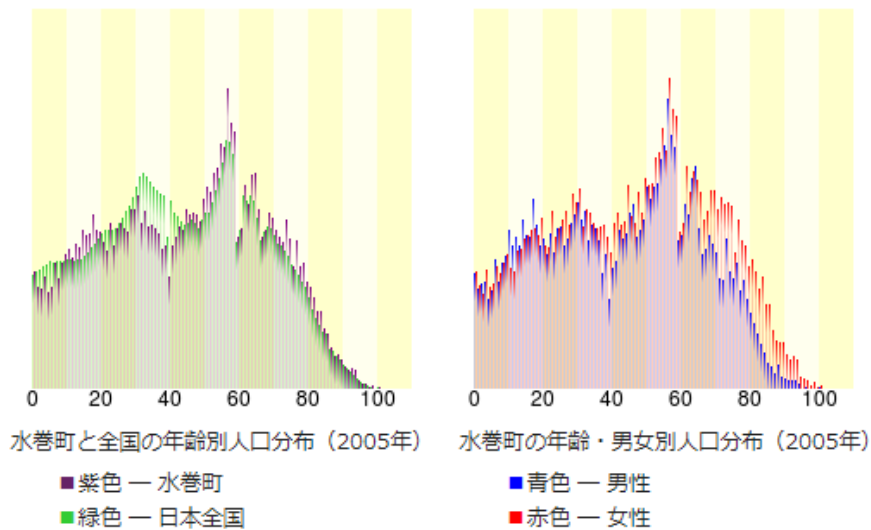
以上

II. 水巻町の概要

1. 地理

町の東側は北九州市に、西側は遠賀川に接している。北九州市とは石炭産業が盛んであった時代から深い交流関係を持ち、同市を中心とした北九州都市圏（関門都市圏）に属し、10%通勤圏に定義される。同市の中でも、かつて同じ遠賀郡に属していた八幡西区（折尾・黒崎地区）との関係は特に親密である。町域内を通る国道3号や鹿児島本線などの沿線では住宅団地やマンションが多数建設されており、同市のベッドタウンとしての役割をもつ。

2. 人口



水巻町（に相当する地域）の人口の推移

1970年	26,977人
1975年	24,377人
1980年	27,196人
1985年	30,062人
1990年	29,756人
1995年	31,289人
2000年	31,623人
2005年	30,679人
2010年	30,021人
2015年	28,997人

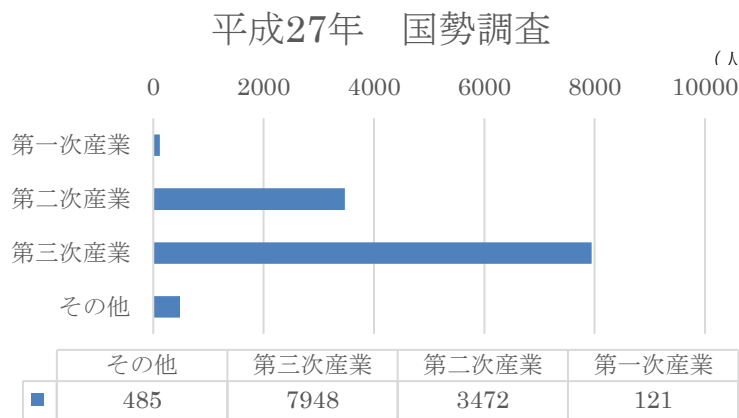
総務省統計局 国勢調査より

3. 歴史

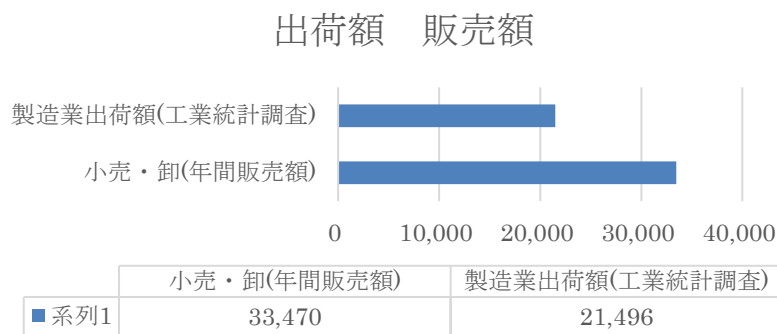
かつては産出される石炭を元にした鉱工業が盛んであったが、エネルギー革命の影響を受けて急速に衰退した。最盛期の1960年代初頭に約3万5000人に達した人口は炭坑閉山が進むとともに減少を続け、1970年（昭和45年）以降は過疎地域に指定された。しかし、日本炭鉱梅ノ木社宅跡地を住宅都市整備公団（当時）梅ノ木団地として再開発した事を筆頭に北九州市に近接する地の利を生かし同市のベッドタウンとして発展し始めたことで人口は増加に転じ、過疎地域指定は1990年（平成2年）に解除された。同年以降、人口は漸増傾向にあったが2005年（平成17年）の国勢調査で再び緩やかな減少に転じている。人口は2015年現在、約2万9千人であり遠賀郡では岡垣町に次ぐ規模である。町域の大半が市街化されており人口密度は2500人を超え、隣接する北九州市より高く、同市最大の人口の八幡西区ともほぼ同水準である。

4. 産業

(1)産業構造



(2)製造業出荷額、卸小売業販売額



5.水巻駅および東水巻駅の現状(乗車人員推移)

年度	水巻駅	東水巻駅
2010	2,227	484
2011	2,241	490
2012	2,239	505
2013	2,276	505
2014	2,210	450
2015	2,139	460
2016	2,134	450

(1)水巻駅の歴史

- 1961年(昭和36年)10月1日 - 日本国有鉄道が開設。
- 1987年(昭和62年)4月1日 - 国鉄分割民営化により九州旅客鉄道が継承。
- 1993年(平成5年)3月 - みどりの窓口営業開始。
- 1995年(平成7年) - 南口が完成。
- 2009年(平成21年)3月1日 - ICカード SUGOCA の利用を開始)

(2)東水巻駅の歴史

筑豊本線の折尾駅 - 中間駅間が複雑だった頃、ここで鹿児島本線直通短絡線の上り線(中間→黒崎方面)と筑豊本線の下り本線(若松方面→中間)を入れ替えていた立体交差の跡に設置された駅である[3]。具体的には、折尾側から筑豊本線上り線、同下り線、短絡線上り線、同下り線の順となっていた配列をここで筑豊本線上り線、短絡線上り線、筑豊本線下り線、短絡線下り線の順に入れ替えていた。外側の2線が大きく開き、その間で筑豊本線下り線が築堤によ

って上に上がり、その下を短絡線より線がくぐることで入れ替えていた。輸送量低下によって複々線が廃止された時に内側2線が廃止され、長らく荒地となっていたが、1988年に駅が開設され今に至る。かつて駅付近の筑豊本線東側には日本炭鉱第一高松坑(1966年閉山)。西側には日本炭礦専用鉄道の石炭積込場があった(1965年運行停止 跡地は吉田団地)

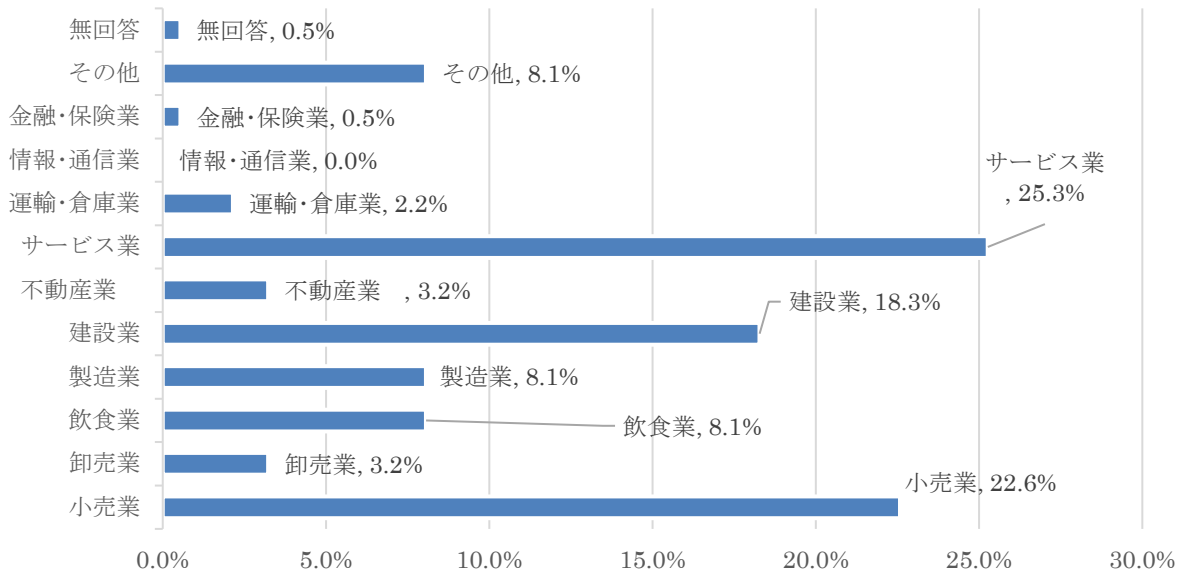
Ⅱ. 会員アンケート集計結果分析(回答数 180 件)

1. 事業所の概要について

(1) 業種

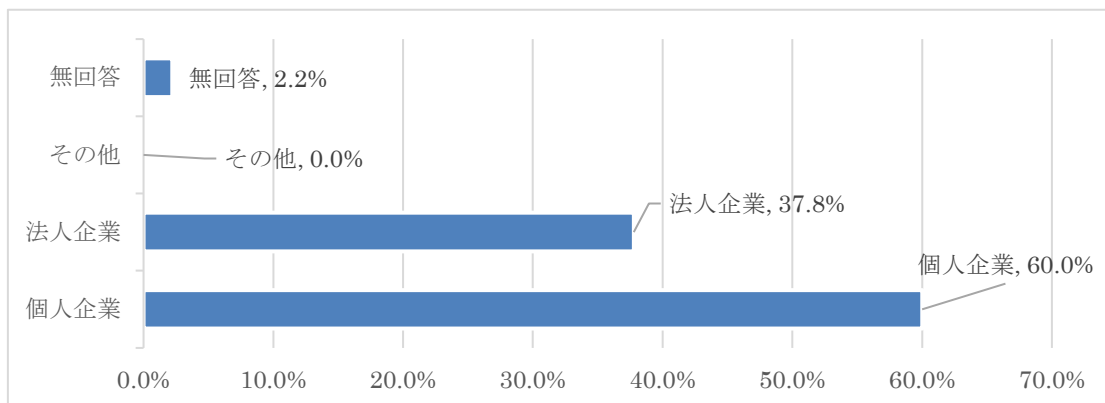
項番	項目	回答数	比率
1	小売業	42	22.6%
2	卸売業	6	3.2%
3	飲食業	15	8.1%
4	製造業	15	8.1%
5	建設業	34	18.3%
6	不動産業	6	3.2%
7	サービス業	47	25.3%
8	運輸・倉庫業	4	2.2%
9	情報・通信業	0	0.0%
10	金融・保険業	1	0.5%
11	その他	15	8.1%
n	無回答	1	0.5%
合計		186	100.0%

※回答数 180 件、複数回答があるため数値差あり



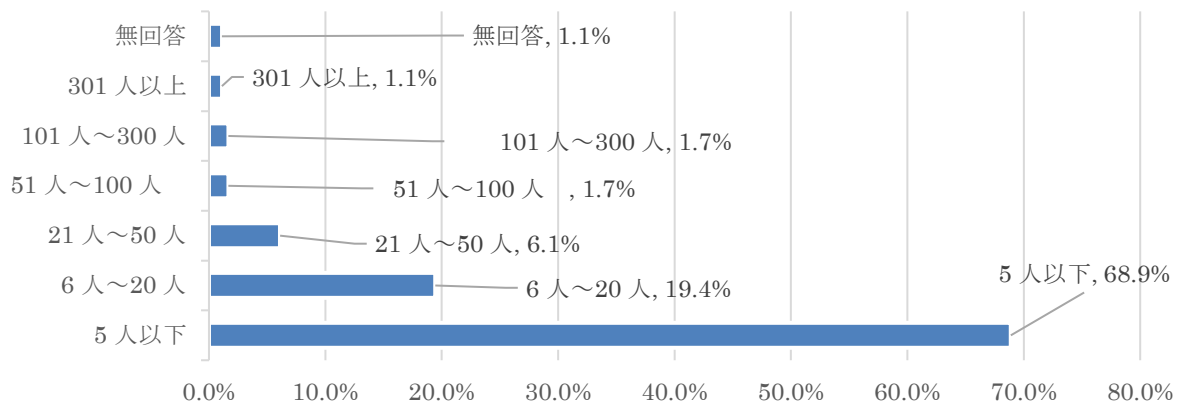
(2) 組織形態

項番	項目	回答数	比率
1	個人企業	108	60.0%
2	法人企業	68	37.8%
3	その他	0	0.0%
n	無回答	4	2.2%
合計		180	100.0%



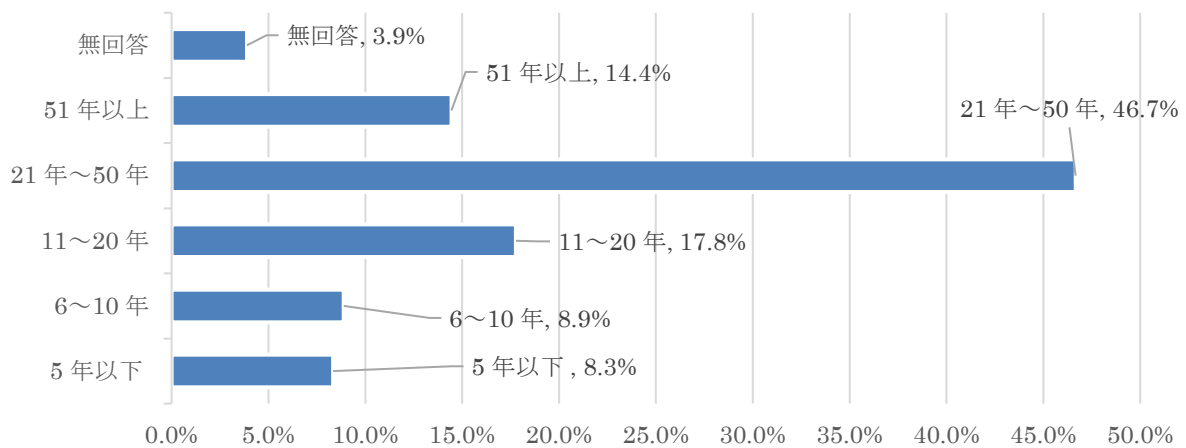
(3) 従業員数

項番	項目	回答数	比率
1	5 人以下	124	68.9%
2	6 人～20 人	35	19.4%
3	21 人～50 人	11	6.1%
4	51 人～100 人	3	1.7%
5	101 人～300 人	3	1.7%
6	301 人以上	2	1.1%
n	無回答	2	1.1%
合計		180	100.0%



(4) 営業年数

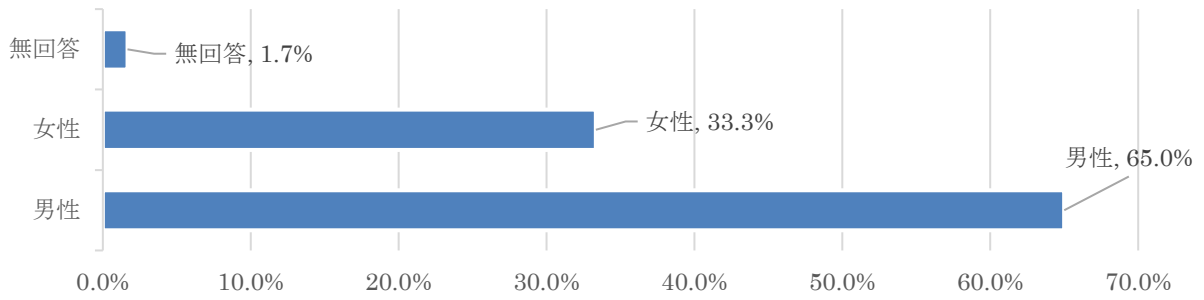
項番	項目	回答数	比率
1	5年以下	15	8.3%
2	6～10年	16	8.9%
3	11～20年	32	17.8%
4	21年～50年	84	46.7%
5	51年以上	26	14.4%
n	無回答	7	3.9%
合計		180	100.0%



(5) 回答者

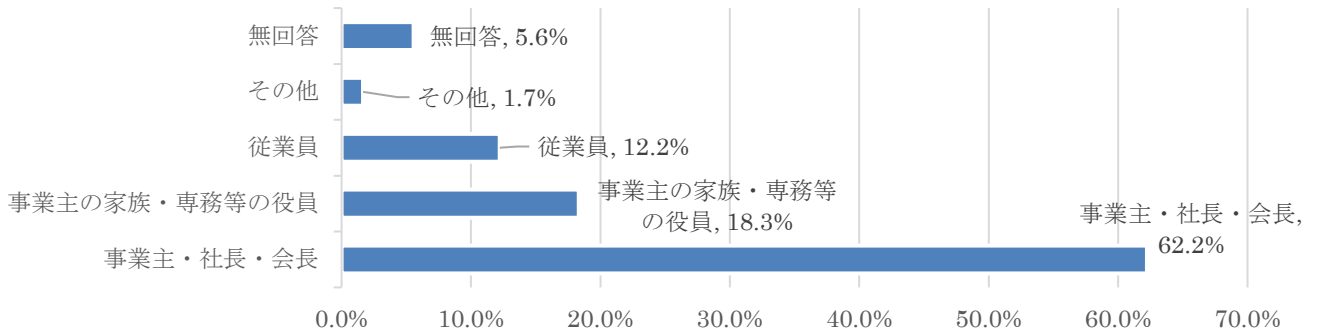
(5)-1 性別

項番	項目	回答数	比率
1	男性	117	65.0%
2	女性	60	33.3%
n	無回答	3	1.7%
合計		180	100.0%



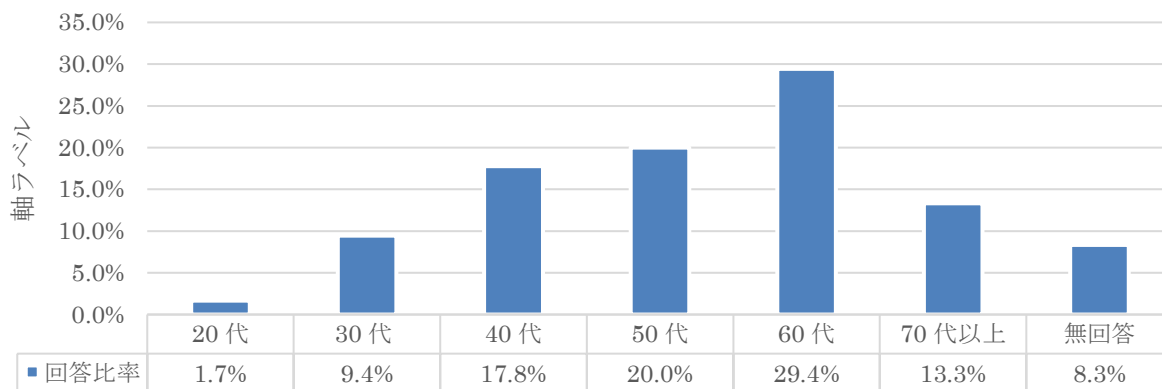
(5)-2 役職

項番	項目	回答数	比率
1	事業主・社長・会長	112	62.2%
2	事業主の家族・専務等の役員	33	18.3%
3	従業員	22	12.2%
4	その他	3	1.7%
n	無回答	10	5.6%
合計		180	100.0%



(5)-3 年代

項番	項目	回答数	比率
1	20代	3	1.7%
2	30代	17	9.4%
3	40代	32	17.8%
4	50代	36	20.0%
5	60代	53	29.4%
6	70代以上	24	13.3%
n	無回答	15	8.3%
合計		180	100.0%

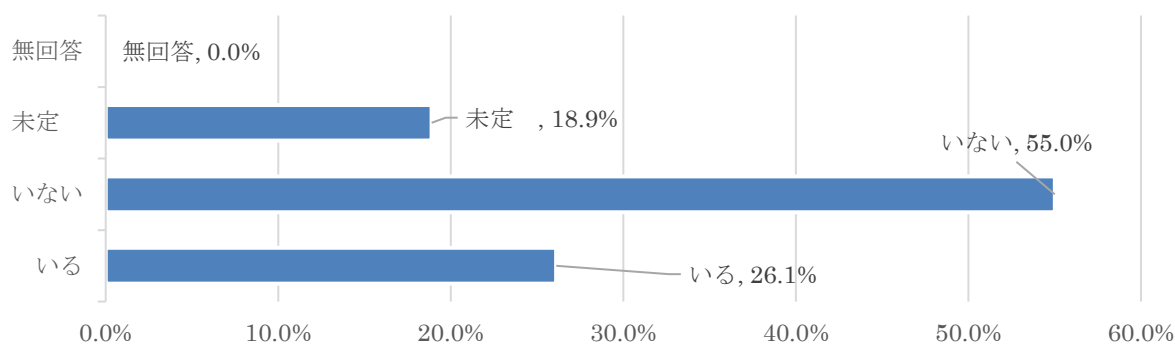


回答企業の業種については、サービス業がもっとも多く、次いで小売業、建設業の順であり、飲食業と製造業が続く。組織形態は、小規模の個人企業が約6割、従業員数は5人以下が約7割弱、業歴は20年以上が約6割、回答者は60代男性の代表者が最も多い。

2.事業所について

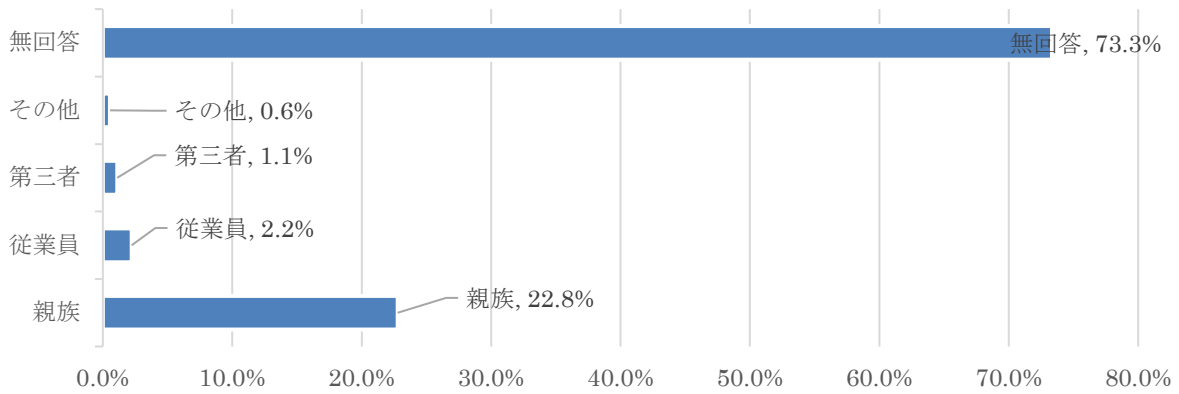
①後継者はいらっしゃいますか。

項番	項目	回答数	比率
1	いる	47	26.1%
2	いない	99	55.0%
3	未定	34	18.9%
n	無回答	0	0.0%
合計		180	100.0%



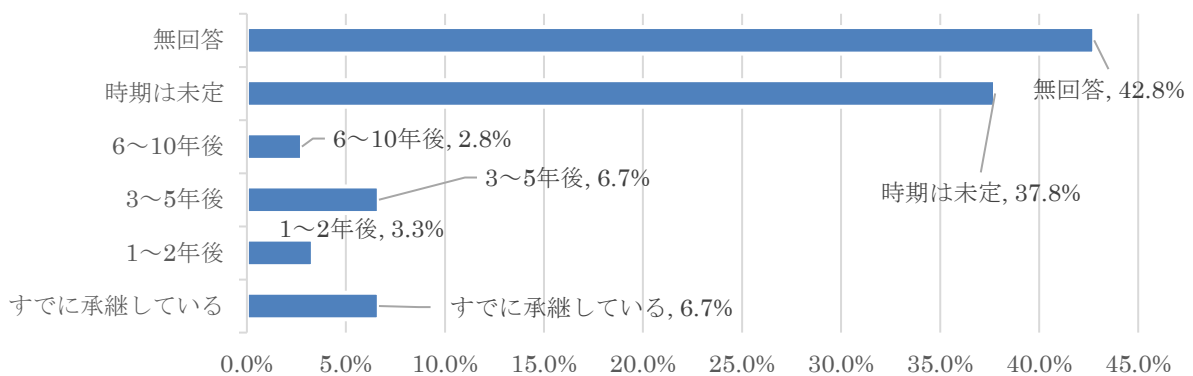
②「いる」とお答えいただいた方にお聞きます。事業承継される方は具体的に決まっていますか。

項番	項目	回答数	比率
1	親族	41	22.8%
2	従業員	4	2.2%
3	第三者	2	1.1%
4	その他	1	0.6%
n	無回答	132	73.3%
合計		180	100.0%



③事業承継の時期は予定されていますか。

項番	項目	回答数	比率
1	すでに承継している	12	6.7%
2	1～2年後	6	3.3%
3	3～5年後	12	6.7%
4	6～10年後	5	2.8%
5	時期は未定	68	37.8%
n	無回答	77	42.8%
合計		180	100.0%



事業承継については、「後継者がいる」との回答は 26%で、「いない」との回答が 55%である。後継者がいる場合、「親族」が 22.8%、次いで「従業員」が 2.2%となっている。また承継の時期に関しては、「既に承継済み」が 6.7%、10年以内が 12.8%、「時期は未定」が 37.8%となっている。

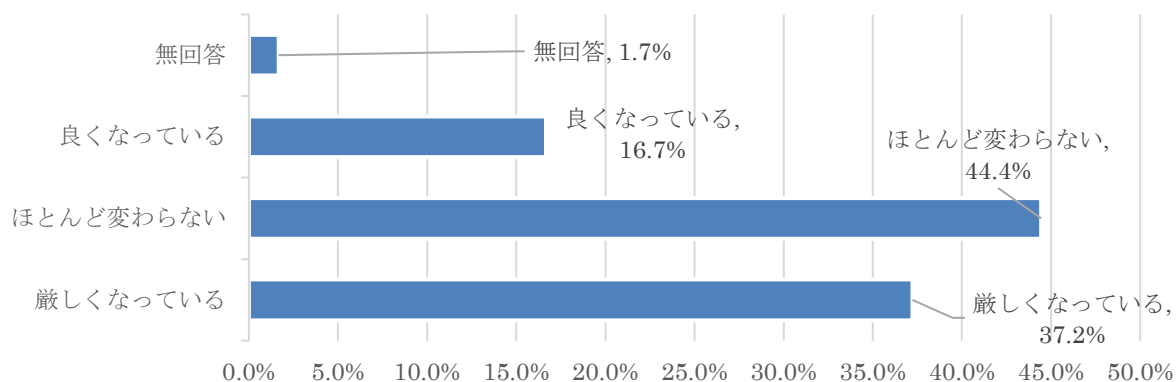
上記「1.事業所の概要について」にあるとおり、業歴が長く、60代男性が代表を務める企業が多く、未だ現役でご活躍されている一方、次世代を見据えた事業承継を進める時期に来ていると思われるものの、なかなか進んでいない状況と思われる。

商工会としても、今後そうした企業に対し、親族や従業員以外の第三者への承継や、事業譲渡のマッチングなどの可能性を探るなど、事業承継の情報提供の強化が求められている。

④貴事業所の今の業績は、昨年同時期と比べていかがですか。

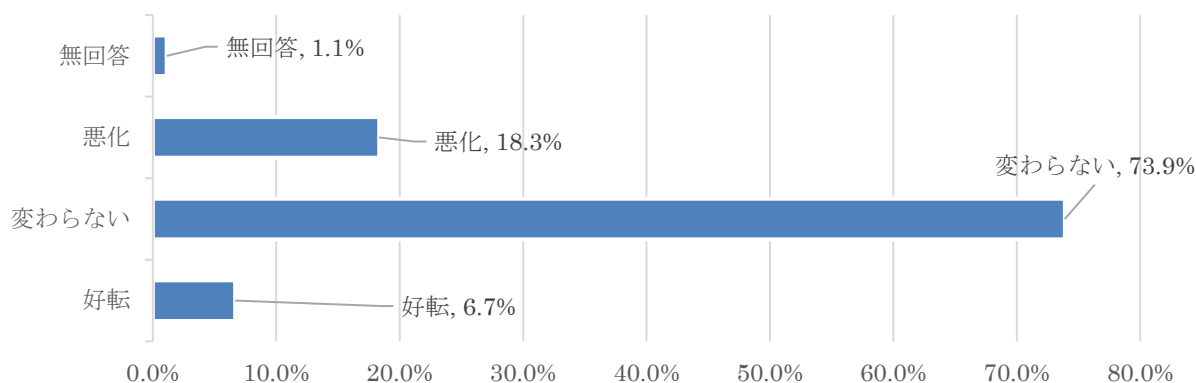
項番	項目	回答数	比率
----	----	-----	----

1	厳しくなっている	67	37.2%
2	ほとんど変わらない	80	44.4%
3	良くなっている	30	16.7%
n	無回答	3	1.7%
合計		180	100.0%



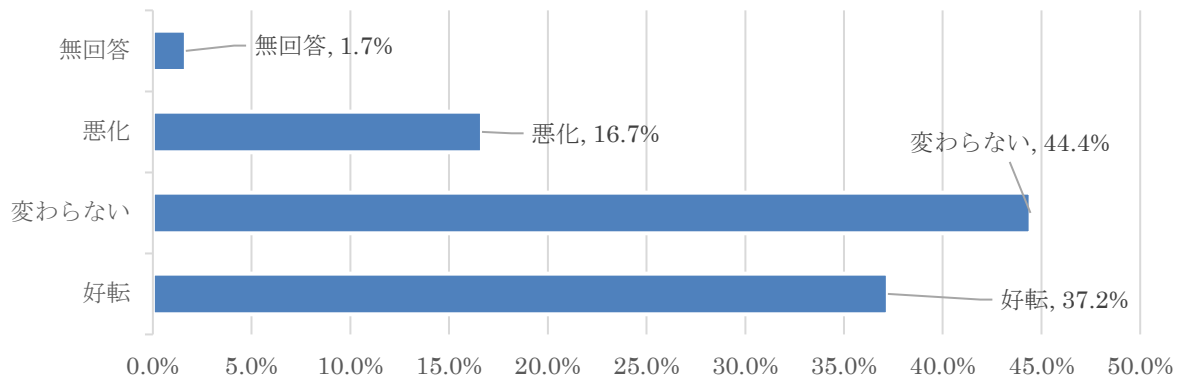
⑤貴事業所の今の資金繰りは、昨年同時期と比べていかがですか。[該当1つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	好転	12	6.7%
2	変わらない	133	73.9%
3	悪化	33	18.3%
n	無回答	2	1.1%
合計		180	100.0%



⑥貴事業所の今の採算は、昨年同時期と比べていかがですか。[該当1つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	好転	67	37.2%
2	変わらない	80	44.4%
3	悪化	30	16.7%
n	無回答	3	1.7%
合計		180	100.0%



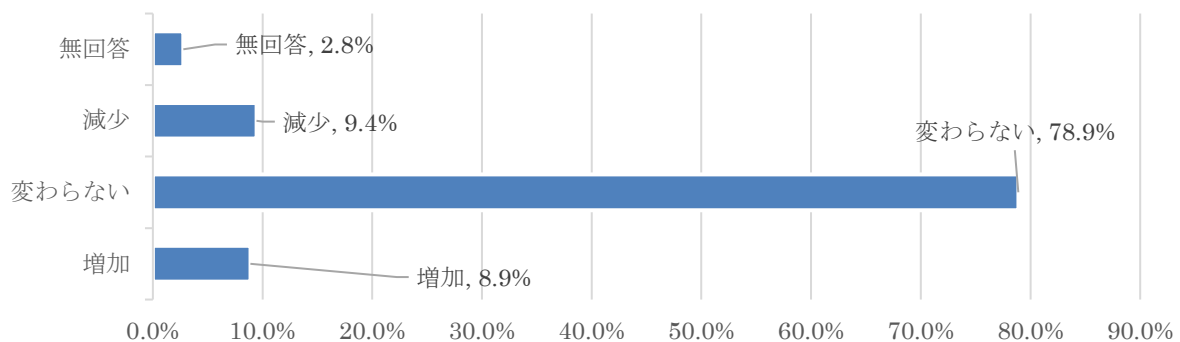
業績は、45%が「変わらない」、37%が「厳しくなっている」、16.7%が「良くなっている」に対し、採算は、44%が「変わらない」、37%が「好転」、16.7%が「悪化」となっている。

業績は変わらない・厳しいものの、採算は変わらない・好転という順に多く、厳しいながら企業努力を重ねられていることが垣間見える。

資金繰りは7割超が「変わらない」と回答されている。

⑦貴事業所の今の従業員数は、昨年同時期と比べていかがですか。[該当1つに○印]

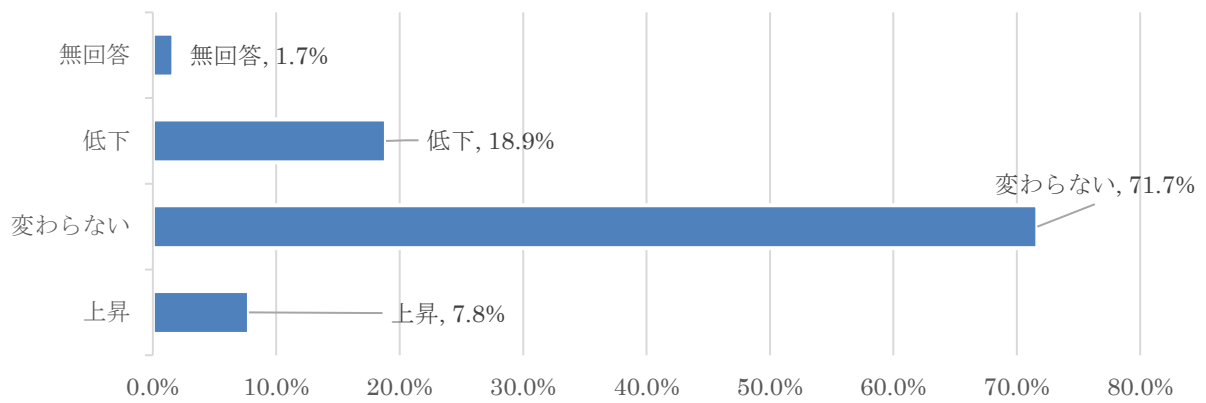
項番	項目	回答数	比率
1	増加	16	8.9%
2	変わらない	142	78.9%
3	減少	17	9.4%
n	無回答	5	2.8%
合計		180	100.0%



従業員数は約8割が「変わらない」状況。増加、減少もそれぞれ1割以下となっている。

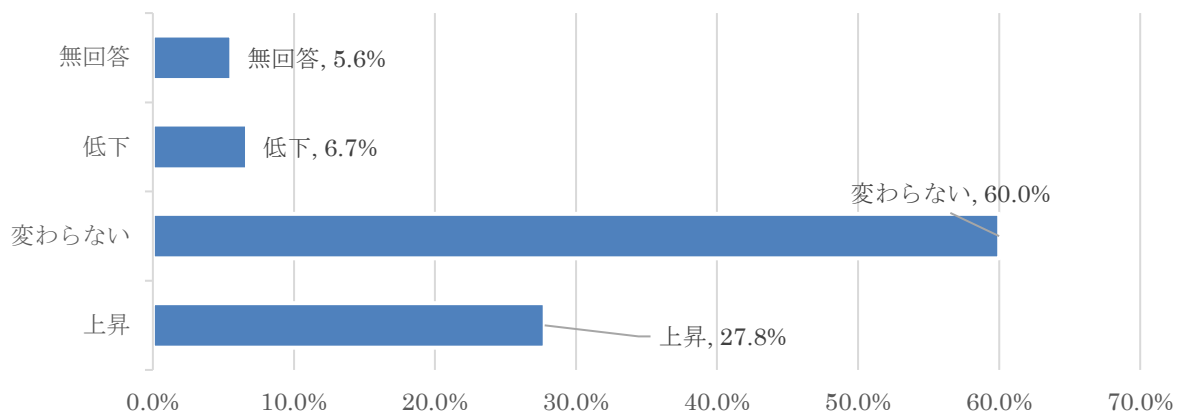
⑧貴事業所の今の客単価は、昨年同時期と比べていかがですか。[該当1つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	上昇	14	7.8%
2	変わらない	129	71.7%
3	低下	34	18.9%
n	無回答	3	1.7%
合計		180	100.0%



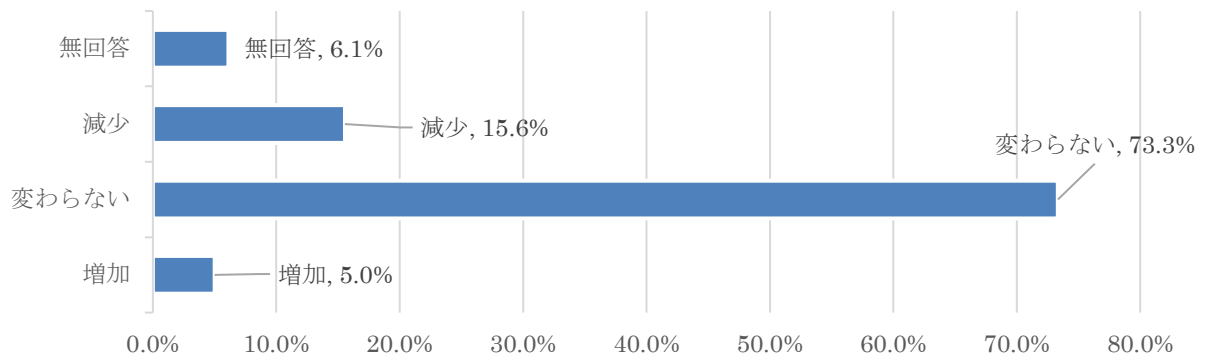
⑨貴事業所の今の仕入単価は、昨年同時期と比べていかがですか。[該当 1 つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	上昇	50	27.8%
2	変わらない	108	60.0%
3	低下	12	6.7%
n	無回答	10	5.6%
合計		180	100.0%



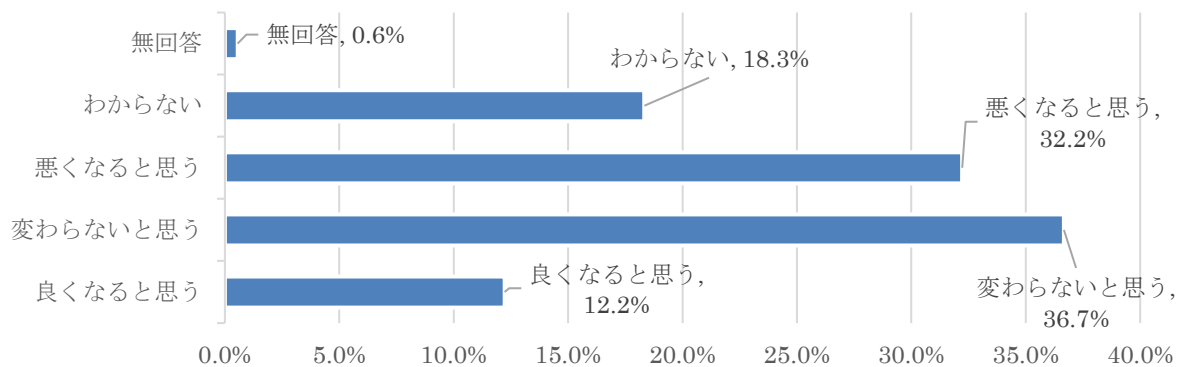
⑩貴事業所の今の在庫量は、昨年同時期と比べていかがですか。[該当 1 つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	増加	9	5.0%
2	変わらない	132	73.3%
3	減少	28	15.6%
n	無回答	11	6.1%
合計		180	100.0%



⑩来年同時期の事業の見通しはいかがですか。[該当 1 つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	良くなると思う	22	12.2%
2	変わらないと思う	66	36.7%
3	悪くなると思う	58	32.2%
4	わからない	33	18.3%
n	無回答	1	0.6%
合計		180	100.0%



客単価は「変わらない」が71%、「低下」が18.9%であり、仕入単価は「変わらない」が60%、「上昇」が27.8%となっている。客単価の維持できている企業が多いものの、仕入れ価格の上昇に悩まされている様子が見えてくる。他方、在庫量は73%が「変わらない」となっている。

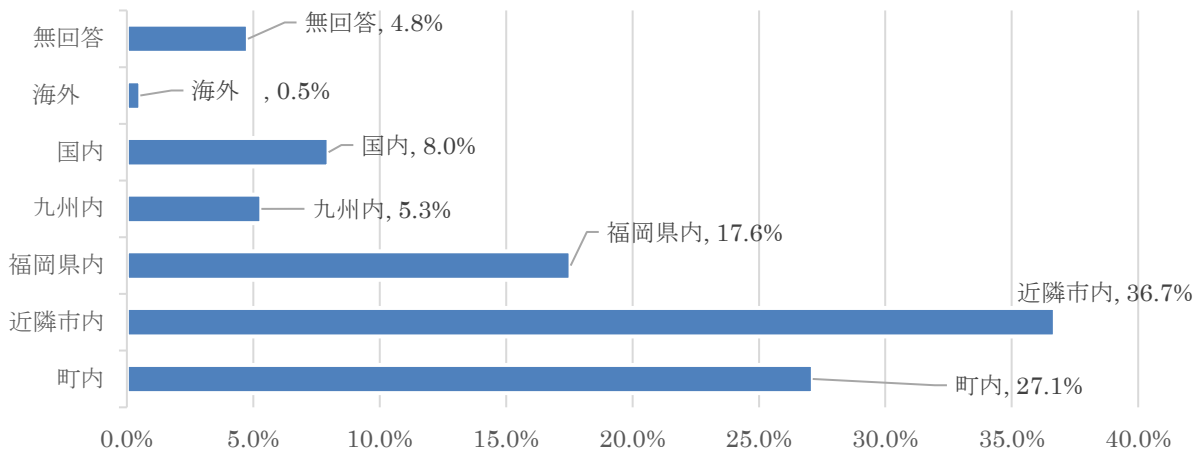
来年の見通しについては「変わらない」が36.7%であり、「悪くなる」32.2%、「良くなる」12.2%と、中立からやや悲観的な態度が多数をしめていることも見て取れる。

⑪主な販売先はどちらの地域ですか。[該当 1 つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	町内	51	27.1%
2	近隣市内	69	36.7%
3	福岡県内	33	17.6%
4	九州内	10	5.3%
5	国内	15	8.0%

6	海外	1	0.5%
n	無回答	9	4.8%
合計		188	100.0%

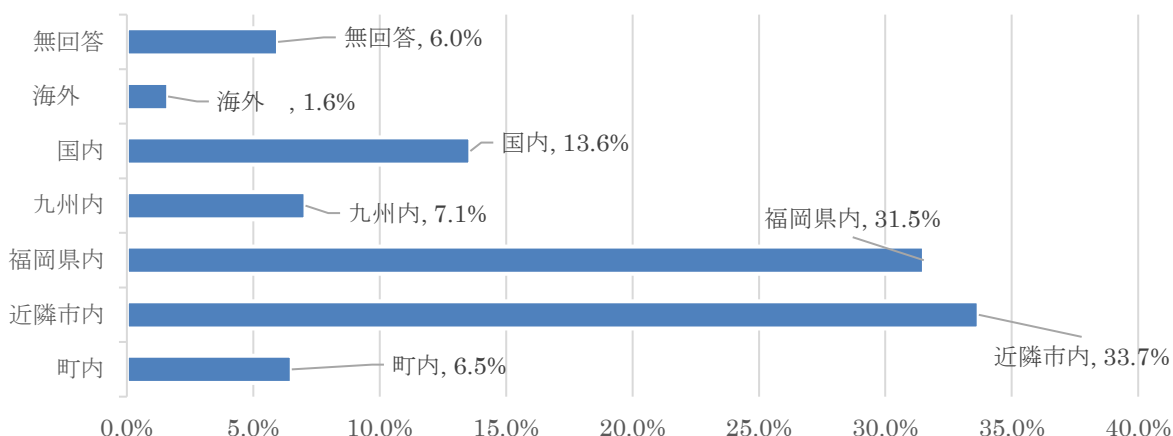
※回答数 180 件、複数回答があるため数値差あり



⑬主な仕入先はどちらの地域ですか。[該当 1 つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	町内	12	6.5%
2	近隣市内	62	33.7%
3	福岡県内	58	31.5%
4	九州内	13	7.1%
5	国内	25	13.6%
6	海外	3	1.6%
n	無回答	11	6.0%
合計		184	100.0%

※回答数 180 件、複数回答があるため数値差あり



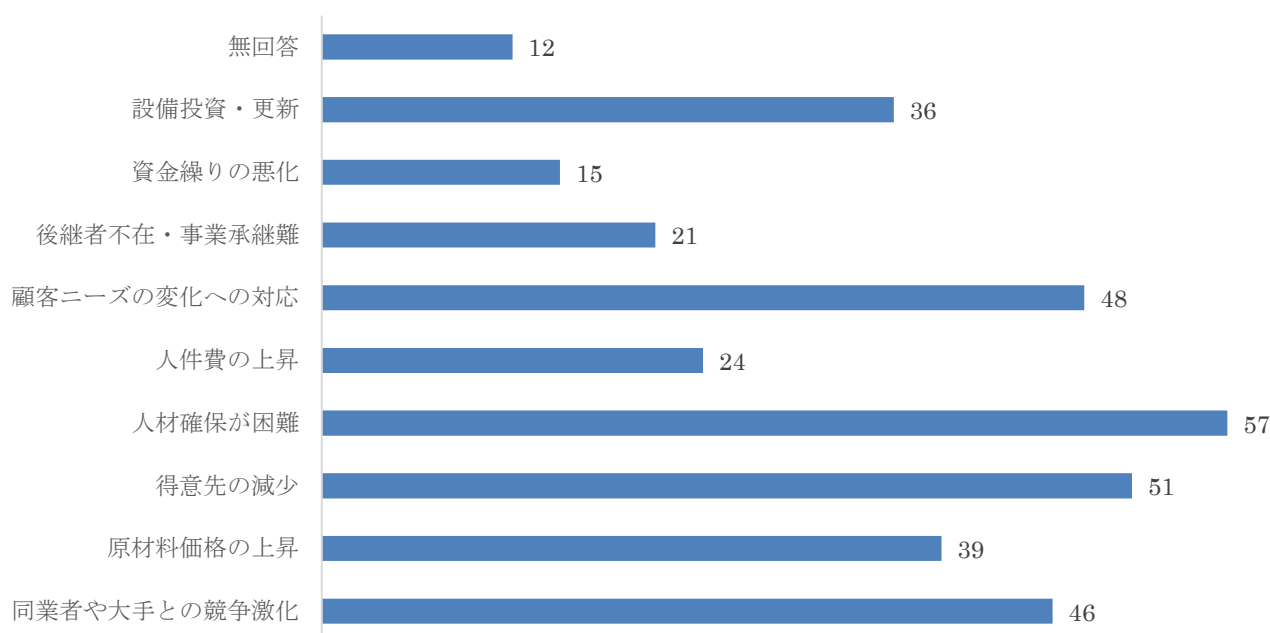
主な販売先は、水巻町内・近隣市内、福岡県内が多く、仕入先は近隣市内、福岡県内が多い。九州内や国内といった先は少ない状況であるが、販路開拓の余地があるともとれる。また少ないながらも海外取引を行う企業も見られた。

⑭現在抱えている経営上の課題は何ですか。

項番	項目	回答数	比率
----	----	-----	----

1	同業者や大手との競争激化	46	13.2%
2	原材料価格の上昇	39	11.2%
3	得意先の減少	51	14.6%
4	人材確保が困難	57	16.3%
5	人件費の上昇	24	6.9%
6	顧客ニーズの変化への対応	48	13.8%
7	後継者不在・事業承継難	21	6.0%
8	資金繰りの悪化	15	4.3%
9	設備投資・更新	36	10.3%
n	無回答	12	3.4%
合計		349	100.0%

※回答数 180 件、複数回答があるため数値差あり



経営上の課題については、「人材確保が困難」が最も多く、ついで「得意先の減少」「顧客ニーズの変化への対応」「同業者や大手との競争激化」が上位となっている。

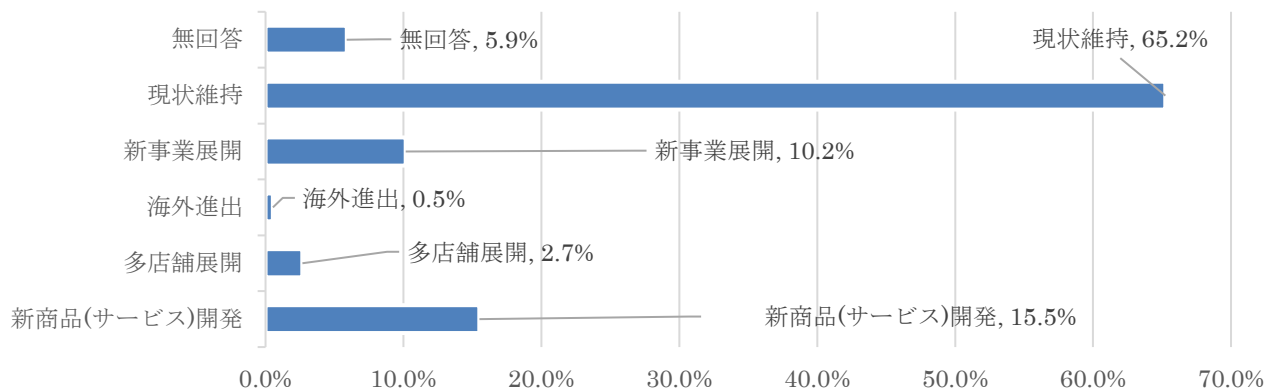
情報インフラやITの普及により、情報の流通速度が劇的に上がったことで、同時に製品サイクルの陳腐化も早くなり、製品開発力、手配力のあるサプライチェーンが形成され、大手企業の力が一層強くなる一方で、中小規模の企業では、得意先の減少となっていると思われる。また水巻町においても高齢社会の波から人口減少の流れとなっているのみならず、若年層の近郊都市部への移動が、人材不足に拍車をかけており、更なる人材の獲得支援策が必要と思われる。

⑮今後の事業について、新たな取組みは考えられていますか。

項番	項目	回答数	比率
1	新商品(サービス)開発	29	15.5%
2	多店舗展開	5	2.7%
3	海外進出	1	0.5%

4	新事業展開	19	10.2%
5	現状維持	122	65.2%
n	無回答	11	5.9%
合計		187	100.0%

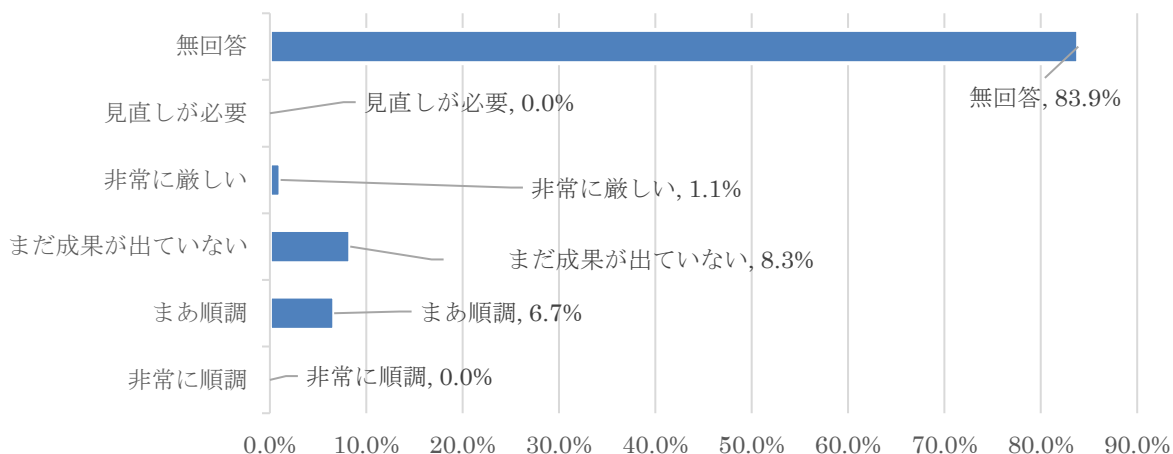
※回答数 180 件、複数回答があるため数値差あり



今後の事業について、新たな取組みをお考えかどうかについては、「新事業展開」10.2%、「新商品(サービス)開発」15.5%と意欲的な姿勢をお持ちである一方、「現状維持」との回答が 65.2%と最も多かった。社会、経済状況が刻々変化する中で、純粋に現状維持を行うことは難しいと思われる。必ずしも「新事業展開」「新商品(サービス)開発」である必要はないが、何らかの経営改善、もしくは向上に向け、取り組む必要がある。

⑩すでに新規事業に取り組まれている方にお聞きます。

項番	項目	回答数	比率
1	非常に順調	0	0.0%
2	まあ順調	12	6.7%
3	まだ成果が出ていない	15	8.3%
4	非常に厳しい	2	1.1%
5	見直しが必要	0	0.0%
n	無回答	151	83.9%
合計		180	100.0%

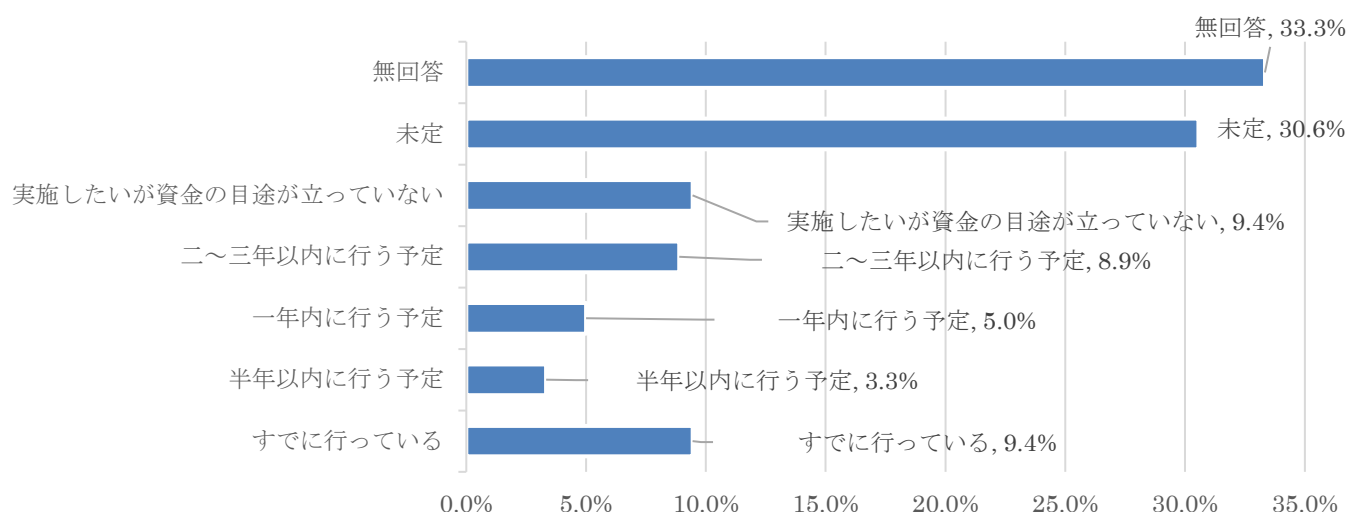


既に新規事業へ取り組まれている事業所・企業の状況については、取り組んでいること自体が希少であり、また「まあ順

調」6.7%、「まだ成果がでていない」8.3%、「非常に厳しい」1.1%と、即結果に繋がらないことも見て取れる。そのため、その企業の積極姿勢を支えることも、強化の必要がある。

⑩設備投資・更新について、実施をお考えの時期はいつくらいですか。[該当 1 つに○印]

項番	項目	回答数	比率
1	すでに行っている	17	9.4%
2	半年以内に行う予定	6	3.3%
3	一年以内に行う予定	9	5.0%
4	二～三年以内に行う予定	16	8.9%
5	実施したいが資金の目途が立っていない	17	9.4%
6	未定	55	30.6%
n	無回答	60	33.3%
合計		180	100.0%



設備投資に関しては、無回答を除き、「未定」が 30.6%と最も多いが、「既に行っている」ところも 9.4%あり、また「半年以内に」「一年以内に」「二～三年以内に」行う予定が、17.2%であり、必要性または計画までのあるものの、実施に至っていないところが存在する。一方、「実施したいが資金の目途が立っていない」ところも 9.4%ある。

つまり「実施したいが、現在はできていない」ところが約 25%あり、これらの事業者に対し、例えば補助金・助成金情報提供から、申請書の作成支援までの伴走支援を、よりきめ細かく行うことが必要と思われる。

経営発達支援の総合目標は、(1)大型店にない特徴を持った小規模事業者の支援強化拡充、(2)商業サービス業を中心とする小規模事業者の持続的発展の促進としている。水巻町の住みやすさと賑わいの両立を目指し、地域住民へのきめ細かなサービスを創出できる小規模事業者の支援を重点的に行う。

まずは商工会として、小規模事業者が、経営の持続化を図れるよう、経営分析から始めて事業計画の作成、及び実施を支援していく。また、今回の会員アンケートで確認された、事業者の状況、または需要の必要に応じて新商品開発や新事業展開、販路開拓等の伴走型の支援を具体的に取り組み、より強化していく必要があると考える。

⑱ ご自身の事業に関することや、当商工会へのご意見などありましたら、ご自由にご記入ください

(主なご意見)

- ・サービス(商品構成を含む)の向上とマンネリ化の防止対策
どうあるべきかの姿勢の見直しを考える
どうするべきかの計画と行動力を強化する
どうしなければの危機感を改めて考えなければいけない時だということを自身も含め、全員で考え、向かいつことでよい結果へとつなげたい。
めんどくさいの意識をなくす。店舗のいいところを伸ばしボトムを向上させる
- ・築 50 年くらいになる店舗兼住宅なので今後どうしていこうか考えている。またその時に新規事業を考えている所ですが、吉田団地の計画等の見通しがなく、迷っている
- ・地域の総合発展に向けて、貴商工会の更なる寄与を期待しております
- ・商工会員が所得税の特別控除を受けれるようにしてほしい
- ・店舗のメニューを開発したい
- ・いつも大変お世話になっております。私どもの急遽の願いや困りごと、相談に対しいつも丁寧新設そして何よりも明るく！！対応して下さるので本当に助かっております
- ・業界的には大手や格安業者の進出におされたり、需要が減っています。当社出来ること、メリットを伸ばし、生き残っていきたくと思っています。いつも支えていただきありがとうございます
- ・色々たすかっております。一からのつもりで頑張ります
- ・私のパンの美味しさをもっと多くの人へ味わっていただきたいです。少しずつですが PR を行っておりますが、商工会関係者への PR をお願いします
- ・各事業店の数が増えすぎていますね
- ・景気はどうかといわれると将来の見通しは全く立たない。町内人口減少で空き家対策などの動向が分からない。あと 10 年もたてば廻りに人家が全くなくなる。水巻町のシャッター通りはなくならないだろう。低調そのものだ
- ・商工会主催ではしご酒をしていただきたいです
- ・いつ店閉いしようかと思っています。小規模小売店はもうだめかなあ？と思っています

以上